

報道関係者各位

2026年6月1日

## 進学・進級期の子どもたちへの支援

### 専門スタッフによる実践インタビュー

～環境変化に向き合う子どもと家族をサポートするために～



進学・進級のシーズンは、子どもたちにとって大きな環境変化の時期です。新しい学校、新しいクラス、新しい担任の先生——目に見える変化だけでなく、日常のリズムや人間関係が一変するこの時期は、発達に特性を持つ子どもたちにとってとりわけストレスが高まりやすい場面です。

MINORI Group Holdings株式会社(本社: 広島市安佐南区、代表取締役: 駕屋貴治)の運営するららぽーと熊野では、13年にわたる専門的な支援の蓄積をもとに、スタッフが日々の現場で感じていることや、保護者から寄せられる声を整理・言語化しました。

この記事では、子どもたちの変化のサインの読み取り方から、現場で実践している具体的なアプローチ、保護者への関わり方まで、支援の現場レポートをお届けします。

### 1. 進学・進級期に見られる「環境変化のサイン」

進学・進級期には、お子さんによって程度はさまざまですが、以下のような変化が現れることがあります。

- 【**落ち着きの変化**】普段よりも落ち着きがなくなる、急に甘えが強くなるなど、感情コントロールが不安定になりやすい時期です。
- 【**表情・感情の変化**】表情が硬くなる、些細なことで怒るなど、ストレスが行動や表情に表れることがあります。
- 【**行き渋り**】学校や放課後等デイサービスへの行き渋りが増えるケースも見られます。
- 【**特定の時期に集中**】特に小学校で学年が上がるタイミング(クラス替えや担任変更)で現れやすい傾向があります。

これらのサインは「問題行動」ではなく、子どもが不安を表現している大切なメッセージです。見逃さず、丁寧に受け止めることが支援の出発点となります。

### 2. 専門スタッフが実践する「観察と情報共有」

- 支援現場では、子どもの状態変化を多面的に捉えることを大切にしています。
- 【**観察ポイント**】 食欲・活動への参加意欲・友達との距離感・会話の受け答えなど、日常のあらゆる場面でサインが出

< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >

MINORI Group Holdings株式会社 担当: 山下 浩治 yotsuba.k.yamashita@gmail.com

ます。なかでも「雰囲気」(表情・声のトーン・全体的な様子)を重視しています。

●【チームで共有】1人のスタッフの視点だけに頼らず、スタッフ間でリアルタイムに情報を共有。必要に応じて相談支援専門員・学校・担当医などの関係機関とも連携し、多角的に状況を確認します。現場の観察内容を丁寧に記録・言語化し、保護者との情報共有に活用しています。

### 3. 現場で実践する「安心のアプローチ」

不安の強い子どもへの声掛けと環境調整が、落ち着きと次のステップへの挑戦意欲につながります。

- 【安心の声掛け】まず「困っていることがあれば教えてね」「大丈夫だよ」と安心できる言葉をかけた後に、「新しいお友達ができるね」「できたね、すごいね！」という前向きな声掛けへと移行します。
- 【視覚支援の活用】新しい環境への見通しが持てるよう、写真・絵カード・スケジュール表を使って視覚的に説明。「次に何が起きるか」が見えることで、混乱や不安を大きく軽減できます。
- 【感覚入力の導入】活動の導入前にジャンプや粘土遊びなどの「感覚入力」を取り入れることで、その後の活動に落ち着いて参加できるようになります。
- 【「量(数)」で伝える】「あと何分」という時間の概念より、「これを1個片付けたら次」「3つ終わったら」という量・数で伝えることで、子どもが見通しを持ちやすくなります。

### 4. 支援の「なぜ」を大切に——根拠に基づくアプローチ

「この関わり方がなぜ有効なのか」という根拠をスタッフ全員で共有・深掘りすることを重視しています。

発達特性のある子どもたちの多くは、「見通しが見つからないこと」への不安を感じやすく、自分の感情を言語化することが難しい状況にあります。こうした特性を踏まえ、以下の支援の軸を全スタッフで統一しています。

- 【見通しを持てる支援】その子が安心できる見通しを提供することで、「次に何が起きるかわからない」という不安を根本から解消します。
- 【安心できる環境調整】刺激を整理した空間づくり、その子が好む感覚入力・遊びの把握など、環境面からのアプローチを行います。
- 【否定語を使わない声掛け】「ダメ」ではなく「1個だけやってみよう」「できるよ」という言葉選びで、否定的な認知を前向きに変え、不安軽減と挑戦意欲の向上につなげます。
- 【見本を見せる】制作や運動など、まずスタッフが実際にやって見せることで、子どもがイメージを持ちやすくなります。

### 5. 支援の実例——成長のプレイクスルー

以下は、実際の支援現場でのエピソードです(個人情報保護のため詳細は一部変更しています)。

【ケース①】イヤーマフと段階的参加で自信を取り戻したケース  
進級後、授業時間の延長や難度上昇により学校・デイでの離席やパニックが増加。周囲の音・声への過敏さが強く、特定の音でパニックを起こしていた。  
支援:イヤーマフの導入 / 活動前の事前説明 / 短時間参加(最初は30分中数分)から段階的に延長。 成果:「5分だけする」「今日は耳をつけてるの」と本人から発言が見られるようになり、最終的には活動の最後まで参加。振り返りができるようになり、パニック回数も徐々に減少。

【ケース②】見通し支援と安心スペースで家庭にも波及したケース  
クラス替えと担任変更の影響で不安が強まり、保護者から「どう関わればいいのか分からない」との相談を受けた。  
支援:絵カードによる「見通し支援」と「安心できるスペース」を事業所で実践。同様のアプローチをご家庭でも提案(リビング・和室など、本人が落ち着ける場所の確保)。  
成果:保護者の焦りが和らぎ、家庭でも落ち着いて過ごせる時間が増加。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

MINORI Group Holdings株式会社 担当:山下 浩治 yotsuba.k.yamashita@gmail.com

【ケース③】パニック時の安全確保と衝動的行動へのクールダウン対応  
物音や他児の音がきっかけでパニック(泣き叫び・離席)になったケース、および思い通りにならず叩く・押すなどの衝動的行動が見られたケース。  
支援:①刺激の少ない場所へ誘導し、無理な声掛けを控えて見守り。呼吸が整ったタイミングで短い言葉で安心を伝える。②すぐに間に入り双方の安全を確保してクールダウン。落ち着いた後、スタッフが代弁しながら状況を整理。  
成果:叱責でなく「整理と代弁」を重ねることで、自己解決能力と感情の振り返り力が少しずつ育っていった。

## 6. 保護者の声に応える——悩みに寄り添う連携

- **【不安の内容】**「学校生活についていけるか心配」「新しい先生にどこまで理解・支援してもらえるか不安」「荒れたときにどう接すればよいか分からない」など、新学期ならではのご相談が集まります。
- **【2～3月の不安ピーク】**進学・進級を前にした2～3月は、環境変化や友人の転居なども重なり、子どもが不安定になりやすい時期です。保護者もこの時期に不安が高まる傾向があります。
- **【スタッフの関わり方】**まず保護者の不安な気持ちをしっかり受け止め、共感します。そのうえで、デイサービスでの様子や「落ち着いたときの具体的な手段」をお伝えします。家庭でできる視覚支援や安心スペースの確保なども一緒に提案します。
- **【メディア・環境にも注意】**「進学おめでとう」といったテレビの番組が、変化を再認識させ不安を高めることもあります。家庭環境のちょっとした変化が子どもに大きな影響を与えることを、保護者と共有しています。

## 7. ららぽーと熊野からのメッセージ

ららぽーと熊野では、担当者会議を軸に相談支援専門員と密に連絡を取り、子どもの状況に応じて学校・担当医などの関係機関と積極的に情報共有を行っています。特に家庭環境の変化は子どもの心理的安定に大きく影響するため、こうした変化が生じた際には迅速に関係機関へ共有し、子育て支援も含めた包括的なサポートを実施しています。

進学・進級は、お子さんにとっても、保護者の皆様にとっても、大きな節目です。不安を感じることはとても自然なことです。

お子さんは、周囲の理解と支えがあれば、自分のペースでしっかりと成長していきます。一人で抱え込まず、いつでも私たちにご相談ください。一緒にお子さんの成長を支えていきましょう。

## MINORI Group Holdings株式会社について

MINORI Group Holdings株式会社は、広島市安佐南区八木を拠点に、福祉事業・不動産事業・農園事業を展開する地域密着型のグループ企業です。「実りある未来を共につくる」を合言葉に、地域の課題解決と人の成長を促すための仕組みづくりを行っています。

### 【会社概要】

社名: MINORI Group Holdings株式会社

代表者: 代表取締役 駕屋貴治

本社所在地: 広島市安佐南区八木7丁目6-9

設立: 2025年5月

資本金: 100万円

従業員数: 150名(グループ全体)

事業内容: 児童福祉、高齢介護、不動産、工務店、ボクシングジムなど

HP: <https://www.minoriholdings.jp/>

### 【報道関係の方からのお問い合わせ先】

広報担当者: 山下 浩治

メールアドレス: [yotsuba.k.yamashita@gmail.com](mailto:yotsuba.k.yamashita@gmail.com)

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

MINORI Group Holdings株式会社 担当: 山下 浩治 [yotsuba.k.yamashita@gmail.com](mailto:yotsuba.k.yamashita@gmail.com)